

令和7年度

能力開発セミナー コースガイド

令和7年4月～令和8年3月

「ものづくり企業」の
人材育成を
サポートします。



ポリテクセンター大分では、在職者の方を対象に技能・技術の習得を目的とした能力開発セミナー（2日間から4日間程度）を開講しています。従業員の計画的な人材育成や自己啓発に是非お役立てください!!

ポリテクセンター大分

令和7年度 能力開発セミナーコースガイド

目 次

● 受講のお申込みから実施までの流れ	1
● 開講月別コース一覧	2
● 訓練分野別コース一覧	4
● 各コースの詳細なお案内	
・ 機 械 系	6
・ 金 属 系	12
・ 建 築 系	14
・ 設 備 系	16
・ 電 気 系	18
● オーダーメイドセミナーのお案内	21
● 施設利用等貸出・講師派遣のお案内	22
● 人材採用のお案内	23
● 生産性向上支援訓練のお案内	24
● 高度ポリテクセンターのお案内	26
● 能力開発セミナー受講申込書	27

事業主の声



- 新たな知識を取得したことで、受講者の意識が向上し、大変役に立った。
- 社内で細部まで指導できる人材がいなかったので受講させたが、技術を習得してきたことで、作業時間の短縮につながっている。
- 従業員の図面の作図・読解力が向上し、製作ミスの削減につながった。



受講のお申込みから実施までの流れ

お申込み

「能力開発セミナー受講申込書」(27ページ)に必要な事項をご記入のうえ、FAX、メールまたは郵送でお申し込みください。

当センターのホームページにもPDFとExcel形式でご用意しています。ご利用ください。

締め切り

原則として、開講日の2週間(14日)前までの受付となります。

受講案内・請求書の発送

開講日の2週間(14日)前を目途に、「受講案内」及び「請求書」を発送します。

受講料のご入金

開講日の1週間(7日)前までに、請求書に記載されている銀行口座に受講料(税込)をお振り込みください。

なお、振込手数料は、申込者にてご負担願います。

セミナー受講

筆記用具、その他にコースで指定されたものをご持参ください。出席時間がコースの総訓練時間の80%(総訓練時間が12時間の場合100%)を満たしている場合は、修了証書を交付します。

*セミナー終了後に、受講されたすべてのコースについて受講者及びその事業主に対して、「コース内容に関する満足度等のアンケート調査」へのご協力をお願いしています。

受講取消(キャンセル)について

セミナー開講日の2週間(14日)前(土日祝日にあたる場合はその前日)までに、お知らせください。それ以降の取消(キャンセル)やご連絡がない場合は、受講料をご負担いただきます。

コースの中止・延期について

当センターの都合(お申込みが少数など)により、コースを中止または延期させていただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。中止の場合は、受講料を返金いたします。

また、コース開講中、悪天候等のやむを得ない理由により休講となった場合には、受講者の方へご相談したうえで、再度振替日を設定いたします。

なお、振替日に受講いただけない場合、受講料の返金はいたしかねますので、ご容赦ください。

【お問い合わせ先】

ポリテクセンター大分 訓練課 受講者第一係(セミナー担当)

TEL 097-529-8615 FAX 097-522-0170

E-mail oita-poly03@jeed.go.jp

URL <https://www3.jeed.go.jp/oita/poly/zaishoku/index.html>

令和7年度 開講月別コース一覧

月	コース№	コース名	受講料	実 施 日	掲載頁	
5	7D101	戸建て住宅電気設備設計実践技術	6,000円	5/10(土), 11(日)	2日間	18
	7M201	被覆アーク溶接技能クリニック	9,500円	5/12(月), 13(火)	2日間	12
	7M202	半自動アーク溶接技能クリニック	14,000円	5/15(木), 16(金)	2日間	12
	7D102	低圧電気設備の機器選定技術	6,000円	5/17(土), 18(日)	2日間	18
	7M203	TIG溶接技能クリニック	17,500円	5/19(月), 20(火)	2日間	12
	7H201	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術	11,000円	5/24(土), 25(日)	2日間	16
	7H101	実践建築設計2次元CAD技術	7,000円	5/24(土), 25(日)	2日間	14
6	7H202	現場のための電気保全技術	10,000円	6/4(水), 5(木)	2日間	17
	7M110	精密測定技術	9,500円	6/4(水), 5(木)	2日間	10
	7H102	在来木造住宅設計実践技術	7,000円	6/7(土), 8(日)	2日間	14
	7M104	旋盤加工技術	15,500円	6/10(火), 11(水), 12(木)	3日間	8
	7M109	プラスチック射出成形技術の要点	7,500円	6/18(水), 19(木)	2日間	10
	7M101	実践機械製図(図形理解編)	12,500円	6/24(火), 25(水), 26(木)	3日間	6
7	7D103	一般用電気工作物の施工技術	10,500円	7/5(土), 12(土), 13(日)	3日間	19
	7M105	フライス盤加工技術	22,000円	7/8(火), 9(水), 10(木)	3日間	8
	7M102	実践機械製図(寸法・公差編)	12,500円	7/23(水), 24(木), 25(金)	3日間	6
8	7M106	生産設備診断技術(軸受の振動診断・潤滑編)	8,000円	8/7(木), 8(金)	2日間	11
	7M103	2次元CADによる機械設計技術	10,500円	8/19(火), 20(水), 21(木)	3日間	6
	7H203	現場のための電気保全技術	10,000円	8/20(水), 21(木)	2日間	17
	7M107	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術	12,000円	8/26(火), 27(水), 28(木)	3日間	7
9	7M204	被覆アーク溶接技能クリニック	9,500円	9/4(木), 5(金)	2日間	12
	7H103	BIMを用いた建築設計技術	7,000円	9/6(土), 13(土)	2日間	14
	7M205	TIG溶接技能クリニック	17,500円	9/8(月), 9(火)	2日間	12
	7D107	高圧電気設備の保守点検技術	10,500円	9/9(火), 10(水)	2日間	19
	7M206	半自動アーク溶接技能クリニック	14,000円	9/16(火), 17(水)	2日間	12
	7M207	TIG溶接技能クリニック	17,500円	9/29(月), 30(火)	2日間	12

令和7年度 開講月別コース一覧

月	コース№	コース名	受講料	実施日	掲載頁	
10	7D104	有接点シーケンス制御の実践技術	10,500円	10/1(水),2(木)	2日間	20
	7D108	戸建て住宅電気設備設計実践技術	6,000円	10/11(土),12(日)	2日間	18
	7D109	低圧電気設備の機器選定技術	6,000円	10/18(土),19(日)	2日間	18
	7D105	シーケンス制御による電動機制御技術	10,500円	10/21(火),22(水)	2日間	20
11	7D110	一般用電気工作物の施工技術	10,500円	11/29(土),12/6(土),7(日)	3日間	19
12	7H204	冷媒配管の加工・接合技術	12,500円	12/6(土),7(日)	2日間	16
	7M112	機械設計のための総合力学	12,000円	12/9(火),10(水),11(木)	3日間	7
	7D106	P L C 制御の回路技術	10,500円	12/10(水),11(木)	2日間	20
	7H205	トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術	13,000円	12/20(土),21(日)	2日間	16
	7M108	N C 旋盤加工技術	16,000円	12/16(火),17(水),18(木)	3日間	9
1	7M113	精密測定技術	9,500円	1/21(水),22(木)	2日間	10
2	7H104	軸装の実践的な三段表装技術	14,500円	2/2(月),9(月),16(月),24(火)	4日間	15
	7M208	T I G 溶接技能クリニック	17,500円	2/2(月),3(火)	2日間	12
	7M114	製造業における実践的生産管理	14,000円	2/3(火),4(水),5(木)	3日間	11
	7H105	実践建築設計2次元C A D 技術	7,000円	2/5(木),6(金)	2日間	14
	7M209	被覆アーク溶接技能クリニック	9,500円	2/5(木),6(金)	2日間	12
	7H106	在来木造住宅設計実践技術	7,000円	2/12(木),13(金)	2日間	14
	7H206	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術	11,000円	2/14(土),15(日)	2日間	16
	7M111	マシニングセンタ加工技術	16,000円	2/17(火),18(水),19(木)	3日間	9
	7H207	現場のための電気保全技術	10,000円	2/19(木),20(金)	2日間	17
3	7M210	T I G 溶接技能クリニック	17,500円	3/5(木),6(金)	2日間	12

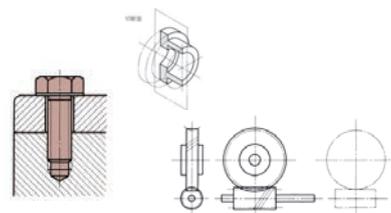
令和7年度 訓練分野別コース一覧

訓練分野	コースNo.	コース名	受講料	実施日	掲載頁
機械設計 機械製図	7M101	実践機械製図（図形理解編）	12,500円	6/24(火), 25(水), 26(木)	3日間 6
	7M102	実践機械製図（寸法・公差編）	12,500円	7/23(水), 24(木), 25(金)	3日間 6
	7M103	2次元CADによる機械設計技術	10,500円	8/19(火), 20(水), 21(木)	3日間 6
	7M107	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術	12,000円	8/26(火), 27(水), 28(木)	3日間 7
	7M112	機械設計のための総合力学	12,000円	12/9(火), 10(水), 11(木)	3日間 7
機械加工	7M104	旋盤加工技術	15,500円	6/10(火), 11(水), 12(木)	3日間 8
	7M105	フライス盤加工技術	22,000円	7/8(火), 9(水), 10(木)	3日間 8
	7M108	NC旋盤加工技術	16,000円	12/16(火), 17(水), 18(木)	3日間 9
	7M111	マシニングセンタ加工技術	16,000円	2/17(火), 18(水), 19(木)	3日間 9
射出成形	7M109	プラスチック射出成形技術の要点	7,500円	6/18(水), 19(木)	2日間 10
測定検査	7M110	精密測定技術	9,500円	6/4(水), 5(木)	2日間 10
	7M113			1/21(水), 22(木)	2日間
機械保全	7M106	生産設備診断技術（軸受の振動診断・潤滑編）	8,000円	8/7(木), 8(金)	2日間 11
生産管理	7M114	製造業における実践的生産管理	14,000円	2/3(火), 4(水), 5(木)	3日間 11
溶接加工 製缶加工	7M201	被覆アーク溶接技能クリニック	9,500円	5/12(月), 13(火)	2日間 12
	7M204			9/4(木), 5(金)	2日間
	7M209			2/5(木), 6(金)	2日間
	7M202	半自動アーク溶接技能クリニック	14,000円	5/15(木), 16(金)	2日間 12
	7M206			9/16(火), 17(水)	2日間
	7M203	TIG溶接技能クリニック	17,500円	5/19(月), 20(火)	2日間 12
	7M205			9/8(月), 9(火)	2日間
	7M207			9/29(月), 30(火)	2日間
	7M208			2/2(月), 3(火)	2日間
	7M210			3/5(木), 6(金)	2日間
		金属材料の熱処理技術	オーダーメイド専用コース 13		
		超音波探傷技術による欠陥評価			

令和7年度 訓練分野別コース一覧

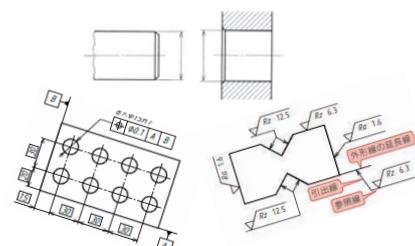
訓練分野	コースNo.	コース名	受講料	実施日	掲載頁	
建築設計 建築製図	7H101	実践建築設計2次元CAD技術	7,000円	5/24(土), 25(日)	2日間	14
	7H105			2/5(木), 6(金)	2日間	
	7H102	在来木造住宅設計実践技術	7,000円	6/7(土), 8(日)	2日間	14
	7H106			2/12(木), 13(金)	2日間	
	7H103	BIMを用いた建築設計技術	7,000円	9/6(土), 13(土)	2日間	14
その他	7H104	軸装の実践的な三段表装技術	14,500円	2/2(月), 9(月), 16(月), 24(火)	4日間	15
空調設備 工事	7H201	冷媒配管の施工と空調機器据付け技術	11,000円	5/24(土), 25(日)	2日間	16
	7H206			2/14(土), 15(日)	2日間	
	7H204	冷媒配管の加工・接合技術	12,500円	12/6(土), 7(日)	2日間	16
給排水衛生 設備工事	7H205	トラブル事例から学ぶ各種管の加工・接合技術	13,000円	12/20(土), 21(日)	2日間	16
保全設備 管理	7H202	現場のための電気保全技術	10,000円	6/4(水), 5(木)	2日間	17
	7H203			8/20(水), 21(木)	2日間	
	7H207			2/19(木), 20(金)	2日間	
	ビル設備管理の実務		オーダーメイド専用コース ※その他関連コースも対応可			17
	空調設備機器の保守技術					
電力電気 設備設計	7D101	戸建て住宅電気設備設計実践技術	6,000円	5/10(土), 11(日)	2日間	18
	7D108			10/11(土), 12(日)	2日間	
	7D102	低圧電気設備の機器選定技術	6,000円	5/17(土), 18(日)	2日間	18
	7D109			10/18(土), 19(日)	2日間	
電気設備 工事	7D103	一般用電気工作物の施工技術	10,500円	7/5(土), 12(土), 13(日)	3日間	19
	7D110			11/29(土), 12/6(土), 7(日)	3日間	
生産設備 保全	7D107	高圧電気設備の保守点検技術	10,500円	9/9(火), 10(水)	2日間	19
制御シス テム設計	7D104	有接点シーケンス制御の実践技術	10,500円	10/1(水), 2(木)	2日間	20
	7D105	シーケンス制御による電動機制御技術	10,500円	10/21(火), 22(水)	2日間	20
	7D106	PLC制御の回路技術	10,500円	12/10(水), 11(木)	2日間	20

コース名 実践機械製図 (図形理解編)			
時間	9:00 ~ 16:00 (計 18 時間)	定員	10 名
コースNo.	日程	受講料	
7M101	6/24(火), 6/25(水), 6/26(木)	12,500 円	
(カリキュラム内容) 機械製図における投影法や製図規格等、図面を読むのに必要な知識を JIS 規格に従って学習し、組立図及び部品図に関する知識、技能を習得します。 「7M102: 実践機械製図 (寸法・公差編)」とのセット受講がお勧めです。			
① JIS に基づく機械製図の概要 ② 投影法 ③ 断面図示法 ④ 機械要素の図示		⑤ 図形の類推 ⑥ 実践課題 ⑦ まとめ・質疑	
(参加者の声) ● セミナーで身につけた知識を元に図面を立体的に想像し完成品のイメージができるようになったので、とても良かったです。 ● 業務上曖昧な定義をしていた部分があったが、今回詳しく学ぶことができた。			



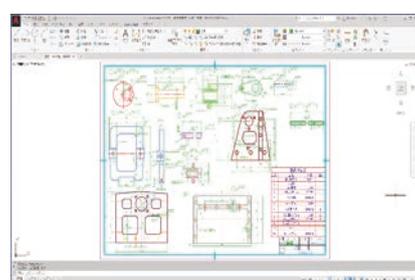
【持参品】
筆記用具、関数電卓

コース名 実践機械製図 (寸法・公差編)			
時間	9:00 ~ 16:00 (計 18 時間)	定員	10 名
コースNo.	日程	受講料	
7M102	7/23(水), 7/24(木), 7/25(金)	12,500 円	
(カリキュラム内容) 機械製図で寸法記入のルールや記入の考え方を演習を通じて学習し、かつ幾何公差や表面性状などの各種公差の指示の仕方について学習することで、機械製図の部品図及び組立図に関する総合的かつ実践的な知識、技能を習得します。 「7M101: 実践機械製図 (図形理解編)」とのセット受講がお勧めです。			
① JIS に基づく寸法記入の概要 ② 寸法公差及びはめあい ③ 幾何公差の記入法 ④ 表面性状について		⑤ 実例で学ぶ寸法記入の考え方 ⑥ 実践課題 ⑦ まとめ・質疑	
(参加者の声) ● 今までは、独自の方法 (寸法記入等) で行っていたため、JIS に合っていない所が多々あったが、正しい知識・手法を学べた。 ● 図面を読み取る力が今までより身についた。			



【持参品】
筆記用具、関数電卓

コース名 2次元CADによる機械設計技術			
時間	9:00 ~ 16:00 (計 18 時間)	定員	15 名
コースNo.	日程	受講料	
7M103	8/19(火), 8/20(水), 8/21(木)	10,500 円	
(カリキュラム内容) 2次元 CAD を使って図面を描く際に必要な作図機能、編集機能や 2次元 CAD のデータ管理、画層の概念など、2次元 CAD を利用した機械製図の組立図と部品図の作成に係る総合的かつ実践的な技能を習得します。			
① CAD の構想と基本設計 ② 複数部品配置とテンプレート設定 ③ 設計効率向上の事前準備 ④ CAD 基本操作		⑤ CAD 応用操作 ⑥ 実践課題 ⑦ 作図作業 ⑧ 評価・まとめ	
(参加者の声) ● 難しい用語等を詳しく学ぶことができた。また、CAD の操作方法を具体的に学べたため、今後、職場で活かせると思う。			



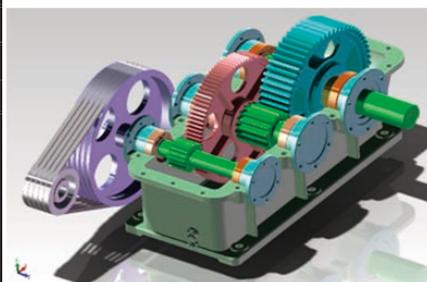
【主な使用機器】
AutoCAD2021

コース名	設計に活かす3次元CADソリッドモデリング技術 (旧3次元ツールを活用した機械設計実習)										
時間	9:00 ~ 16:00 (計 18 時間)	定員	10 名								
コースNo.	日程		受講料								
7M107	8/26(火), 8/27(水), 8/28(木)		12,000 円								
(カリキュラム内容) 3次元モデリング技術を習得します。ソリッドモデリングの基本となる、スケッチ操作について例題を中心に習得します。3次元 CAD を利用した設計技術の習得に適しています。2次元 CAD 操作スキルを持っている方の受講がお勧めです。											
<table border="0"> <tr> <td>① 3次元 CAD 概要</td> <td>⑤ 各種フィーチャーの使用法</td> </tr> <tr> <td>② ソリッドモデリングの概要</td> <td>⑥ フィーチャー構築モデリング技術</td> </tr> <tr> <td>③ 形状モデリング</td> <td>⑦ 設計を考慮した拘束条件の付け方</td> </tr> <tr> <td>④ 作業平面の作成</td> <td>⑧ 実践課題の取組み</td> </tr> </table>				① 3次元 CAD 概要	⑤ 各種フィーチャーの使用法	② ソリッドモデリングの概要	⑥ フィーチャー構築モデリング技術	③ 形状モデリング	⑦ 設計を考慮した拘束条件の付け方	④ 作業平面の作成	⑧ 実践課題の取組み
① 3次元 CAD 概要	⑤ 各種フィーチャーの使用法										
② ソリッドモデリングの概要	⑥ フィーチャー構築モデリング技術										
③ 形状モデリング	⑦ 設計を考慮した拘束条件の付け方										
④ 作業平面の作成	⑧ 実践課題の取組み										



【主な使用機器】
SolidWorks 2020

コース名	機械設計のための総合力学												
時間	9:00 ~ 16:00 (計 18 時間)	定員	10 名										
コースNo.	日程		受講料										
7M112	12/9(火), 12/10(水), 12/11(木)		12,000 円										
(カリキュラム内容) 機械設計を行うために必要な力学知識のうち、機械力学と材料力学に焦点を当てて、最適な設計を目指すための計算手法を学びます。また、機械に生じる力や方向を導いたのちに、材料力学を使って、機械の変形量や破損に至らないかどうかのチェックを行っていきます。当セミナーはそのような工学的アプローチ手法を習得します。													
<table border="0"> <tr> <td>① 力学概要・単位系</td> <td>⑥ 引張・圧縮を受ける部材の強さ</td> </tr> <tr> <td>② 力とモーメントのつり合い</td> <td>⑦ せん断を受ける部材の強さ</td> </tr> <tr> <td>③ ねじと摩擦</td> <td>⑧ 曲げを受ける部材の強さ</td> </tr> <tr> <td>④ 運動とエネルギー</td> <td>⑨ ねじりを受ける部材の強さ</td> </tr> <tr> <td>⑤ トルクと回転数と動力の関係</td> <td></td> </tr> </table>				① 力学概要・単位系	⑥ 引張・圧縮を受ける部材の強さ	② 力とモーメントのつり合い	⑦ せん断を受ける部材の強さ	③ ねじと摩擦	⑧ 曲げを受ける部材の強さ	④ 運動とエネルギー	⑨ ねじりを受ける部材の強さ	⑤ トルクと回転数と動力の関係	
① 力学概要・単位系	⑥ 引張・圧縮を受ける部材の強さ												
② 力とモーメントのつり合い	⑦ せん断を受ける部材の強さ												
③ ねじと摩擦	⑧ 曲げを受ける部材の強さ												
④ 運動とエネルギー	⑨ ねじりを受ける部材の強さ												
⑤ トルクと回転数と動力の関係													



【持参品】
筆記用具、関数電卓

●機械加工

コース名		旋盤加工技術	
時間	9:00～16:00 (計 18 時間)	定員	7名
コースNo.	日程	受講料	
7M104	6/10(火), 6/11(水), 6/12(木)	15,500 円	
(カリキュラム内容)			
旋盤加工作業に必要な加工要素(端面、外径、内径、段付、突っ切り、ドリル)を含んだ加工課題実習を行い、技能・技術を習得します。			
① 切削加工概論	⑤ 切削条件の検討	⑥ 測定機器類の選択	【主な使用機器】 汎用旋盤、各種測定機器類 【持参品】 筆記用具、作業服、作業帽、安全靴
② 旋盤作業の段取り	⑦ 外径・内径・突っ切り、ドリル加工等の加工実習		
③ 材料の取り付け、芯出し作業			
④ 加工工程の検討			
(参加者の声)			
●旋盤で知らない加工方法があり、新たな知識が身についた。また、他の参加者の加工方法が自分とは違い、参考になる部分があったため、とても良い刺激になった。			



【主な使用機器】
汎用旋盤、各種測定機器類
【持参品】
筆記用具、作業服、作業帽、安全靴

コース名		フライス盤加工技術	
時間	9:00～16:00 (計 18 時間)	定員	5名
コースNo.	日程	受講料	
7M105	7/8(火), 7/9(水), 7/10(木)	22,000 円	
(カリキュラム内容)			
フライス盤に関する加工技能を習得します。どのような工具や道具を用意したら良いか、フライス加工の段取りから機械のメンテナンス等の手入れはどのようにしておけば良いか、加工条件の設定等、役に立つ知識の習得を行います。			
① フライス盤作業の概要	⑤ 切削条件の考え方	⑥ 六面体加工	【主な使用機器】 汎用フライス盤、各種測定機器類
② フライス盤の保守点検	⑦ エンドミルによる溝・段加工		
③ フライス盤の操作			
④ 取り作業			



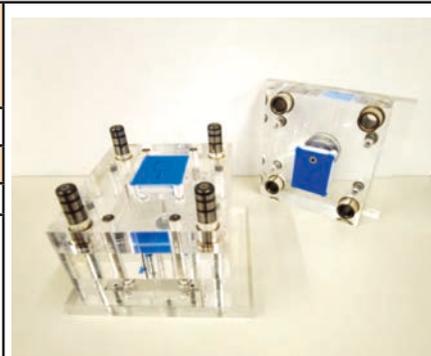
【主な使用機器】
汎用フライス盤、各種測定機器類

コース名	NC旋盤加工技術											
時間	9:00～16:00 (計18時間)	定員	8名									
コースNo.	日程		受講料									
7M108	12/16(火), 12/17(水), 12/18(木)		16,000円									
(カリキュラム内容)												
NC旋盤での生産性向上を目指して、工程の最適化(改善)に向けた加工方法の検討やプログラミング、加工段取り方法を実習を通して習得します。 ※対話型プログラミングではありません。												
<table border="0"> <tr> <td>① NC機器の概要およびNC旋盤について</td> <td>⑤ 加工条件と工程の検討</td> </tr> <tr> <td>② NCの各種機能の確認</td> <td>⑥ プログラム実習</td> </tr> <tr> <td>③ NCの各種機能の応用</td> <td>⑦ NC装置の設定と加工実習</td> </tr> <tr> <td>④ 加工課題の検討</td> <td>⑧ 測定・評価</td> </tr> </table>					① NC機器の概要およびNC旋盤について	⑤ 加工条件と工程の検討	② NCの各種機能の確認	⑥ プログラム実習	③ NCの各種機能の応用	⑦ NC装置の設定と加工実習	④ 加工課題の検討	⑧ 測定・評価
① NC機器の概要およびNC旋盤について	⑤ 加工条件と工程の検討											
② NCの各種機能の確認	⑥ プログラム実習											
③ NCの各種機能の応用	⑦ NC装置の設定と加工実習											
④ 加工課題の検討	⑧ 測定・評価											
<p>【主な使用機器】 NC旋盤、シミュレーションソフト等</p> <p>【持参品】 筆記用具、作業服、作業帽、安全靴</p>												

コース名	マシニングセンタ加工技術 (旧マシニングセンタプログラミング技術)											
時間	9:00～16:00 (計18時間)	定員	7名									
コースNo.	日程		受講料									
7M111	2/17(火), 2/18(水), 2/19(木)		16,000円									
(カリキュラム内容)												
マシニングセンタによる機械部品製造・加工で必要とされる切削加工の知識や切削条件を考慮したプログラム作成、各種補正の設定などの機械の設定・操作ができる技能・技術を実践課題実習を通して習得を目指します。												
<table border="0"> <tr> <td>① NC機器およびマシニングセンタの概要</td> <td>⑤ 加工条件と工程の検討</td> </tr> <tr> <td>② 各種機能の確認</td> <td>⑥ プロセスシートの作成とプログラム実習</td> </tr> <tr> <td>③ 各種機能の応用法</td> <td>⑦ マシニングセンタの各種補正設定と加工実習</td> </tr> <tr> <td>④ 加工課題の検討</td> <td>⑧ 測定・評価</td> </tr> </table>					① NC機器およびマシニングセンタの概要	⑤ 加工条件と工程の検討	② 各種機能の確認	⑥ プロセスシートの作成とプログラム実習	③ 各種機能の応用法	⑦ マシニングセンタの各種補正設定と加工実習	④ 加工課題の検討	⑧ 測定・評価
① NC機器およびマシニングセンタの概要	⑤ 加工条件と工程の検討											
② 各種機能の確認	⑥ プロセスシートの作成とプログラム実習											
③ 各種機能の応用法	⑦ マシニングセンタの各種補正設定と加工実習											
④ 加工課題の検討	⑧ 測定・評価											
<p>【主な使用機器】 マシニングセンタ、シミュレーションソフト</p>												

●射出成形

コース名	プラスチック射出成形技術の要点										
時間	9:00～16:00(計12時間)	定員	10名								
コースNo.	日程	受講料									
7M109	6/18(水), 6/19(木)	7,500円									
(カリキュラム内容) プラスチック製品を大量生産する射出成形に関する用語の理解を進めながら、プラスチック材料、成形機・金型・成形不良等、要点を学んでいきます。射出成形の知識習得の一步を踏み出した方にお薦めのコースとなっています。											
<table border="0"> <tr> <td>① 金型の基本構造</td> <td>⑤ 射出成形加工のプロセス</td> </tr> <tr> <td>② モデル金型の分解・組立実習</td> <td>⑥ 成形不良の要因と対策</td> </tr> <tr> <td>③ 金型の機能と役割</td> <td>⑦ プラスチック材料の要点</td> </tr> <tr> <td>④ 射出成形機の構造</td> <td>⑧ まとめ・質疑</td> </tr> </table>				① 金型の基本構造	⑤ 射出成形加工のプロセス	② モデル金型の分解・組立実習	⑥ 成形不良の要因と対策	③ 金型の機能と役割	⑦ プラスチック材料の要点	④ 射出成形機の構造	⑧ まとめ・質疑
① 金型の基本構造	⑤ 射出成形加工のプロセス										
② モデル金型の分解・組立実習	⑥ 成形不良の要因と対策										
③ 金型の機能と役割	⑦ プラスチック材料の要点										
④ 射出成形機の構造	⑧ まとめ・質疑										
(参加者の声)											
●射出のメカニズムが理解できた。品証としての問題解決のアプローチの手段として成形に対する知識を持つことが最低限必要だったが、講習を通じて知識を得て、少なくとも関係部署や同僚の解決アプローチのための意見を出せるようになったと思う。											



【主な使用機器】
射出成形機、電卓
【持参品】
作業服、作業帽、安全靴

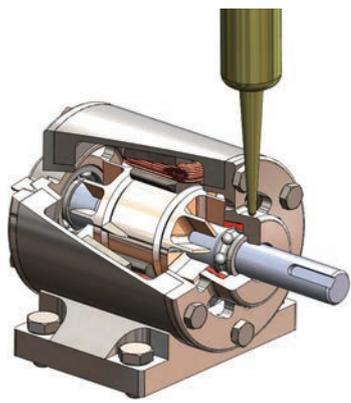
●測定／検査

コース名	精密測定技術										
時間	9:00～16:00(計12時間)	定員	10名								
コースNo.	日程	受講料									
7M110	6/4(水), 6/5(木)	9,500円									
7M113	1/21(水), 1/22(木)	9,500円									
(カリキュラム内容) 測定・検査作業における測定結果の信頼性・安定性の向上を目標に、精密測定の理論を活用し、測定機器の定期検査方法を含めた正しい取扱いと測定方法の習得を目指します。											
<table border="0"> <tr> <td>① 測定と計測について</td> <td>⑤ 各種測定器の特徴</td> </tr> <tr> <td>② 測定におけるトレーサビリティ</td> <td>⑥ 定期検査の方法と校正の方法</td> </tr> <tr> <td>③ 測定誤差の原因と対策</td> <td>⑦ 測定実習</td> </tr> <tr> <td>④ 測定機器の精度と特性</td> <td>⑧ 校正実習</td> </tr> </table>				① 測定と計測について	⑤ 各種測定器の特徴	② 測定におけるトレーサビリティ	⑥ 定期検査の方法と校正の方法	③ 測定誤差の原因と対策	⑦ 測定実習	④ 測定機器の精度と特性	⑧ 校正実習
① 測定と計測について	⑤ 各種測定器の特徴										
② 測定におけるトレーサビリティ	⑥ 定期検査の方法と校正の方法										
③ 測定誤差の原因と対策	⑦ 測定実習										
④ 測定機器の精度と特性	⑧ 校正実習										
(参加者の声)											
●計測器の調整等、詳しく知らなかったことを学ぶことができて大変役に立った。											



【主な使用機器】
各種測定機器、検査用機器
【持参品】
筆記用具

●機械保全

コース名	生産設備診断技術（軸受の振動診断・潤滑編）			 <p>【持参品】 筆記用具、関数電卓</p>								
時間	9:00～16:00（計12時間）	定員	10名									
コースNo.	日程	受講料										
7M106	8/7（木）、8/8（金）	8,000円										
（カリキュラム内容）												
工場設備の振動診断を、高価な診断機がなくても身近にある録音機器（パソコンやスマートフォンなど）を使い、音の解析で設備診断を行うことができます。また、潤滑油についての管理等も学びます。												
<table border="0"> <tr> <td>① 設備管理、五感の重要性</td> <td>⑤ 簡易診断と判定基準</td> </tr> <tr> <td>② 予防保全改良安全など</td> <td>⑥ 精密診断の評価の仕方</td> </tr> <tr> <td>③ ライフサイクルコスト</td> <td>⑦ 音信号の解析の仕方</td> </tr> <tr> <td>④ 設備診断の現状</td> <td>⑧ 潤滑油</td> </tr> </table>					① 設備管理、五感の重要性	⑤ 簡易診断と判定基準	② 予防保全改良安全など	⑥ 精密診断の評価の仕方	③ ライフサイクルコスト	⑦ 音信号の解析の仕方	④ 設備診断の現状	⑧ 潤滑油
① 設備管理、五感の重要性	⑤ 簡易診断と判定基準											
② 予防保全改良安全など	⑥ 精密診断の評価の仕方											
③ ライフサイクルコスト	⑦ 音信号の解析の仕方											
④ 設備診断の現状	⑧ 潤滑油											
（参加者の声）												
●速度と加速度の関係性を再確認でき、アプリを用いた音診断の手法等を学べて、役に立った。												
●上司に報告する際、「音が悪い」「異音がする」と言う報告だけでなく、数値として理論付けることが大切だと学んだ。												

●生産管理

コース名	製造業における実践的生産管理									
時間	9:00～16:00（計18時間）	定員	12名							
コースNo.	日程	受講料								
7M114	2/3（火）、2/4（水）、2/5（木）	14,000円								
（カリキュラム内容）										
生産計画 / 生産管理の生産性の向上を目指して、効率化、適正化、最適化（改善）、安全性向上に向けた生産管理の原理・原則を理解し製造活動における課題の把握力や柔軟な対応力・改善能力を習得します。										
<table border="0"> <tr> <td>① コース概要及び留意事項</td> <td>④ 生産管理演習</td> </tr> <tr> <td>② 生産管理とは</td> <td>⑤ まとめ</td> </tr> <tr> <td>③ 生産管理の実態</td> <td></td> </tr> </table>					① コース概要及び留意事項	④ 生産管理演習	② 生産管理とは	⑤ まとめ	③ 生産管理の実態	
① コース概要及び留意事項	④ 生産管理演習									
② 生産管理とは	⑤ まとめ									
③ 生産管理の実態										
（参加者の声）										
●自社のボトルネックとなっている問題点が見え、改善する必要性を改めて再認識できた。										
●日々の業務で取り組める内容だったので、他部門への横展開がしやすくなった。										

コース名	金属材料の熱処理技術 (～ 金属の熱処理について学びたい方 是非どうぞ! ～)						
※以下内容のセミナーをオーダーメイドで受付しております							
<p>(カリキュラム内容) 各種鉄鋼材料の種類や特性を知り、熱処理の基本を習得します。 各種熱処理方法の種類や用途、なぜ熱処理性が素材により異なるのかなどを解説します。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>① 金属材料の種類と用途</td> <td>④ 組織観察、硬さ測定</td> </tr> <tr> <td>② 平衡状態図の見方・使い方</td> <td>⑤ まとめ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③ 鉄鋼材料の熱処理 (焼入れ・焼戻し、焼ならし、焼なまし等)</td> </tr> </table>			① 金属材料の種類と用途	④ 組織観察、硬さ測定	② 平衡状態図の見方・使い方	⑤ まとめ	③ 鉄鋼材料の熱処理 (焼入れ・焼戻し、焼ならし、焼なまし等)
① 金属材料の種類と用途	④ 組織観察、硬さ測定						
② 平衡状態図の見方・使い方	⑤ まとめ						
③ 鉄鋼材料の熱処理 (焼入れ・焼戻し、焼ならし、焼なまし等)							

【主な使用機器】
マイクロビッカース硬さ試験機、
ショア硬さ試験機

コース名	超音波探傷技術による欠陥評価 (～ NDI UT1 手順を確認したい方 是非どうぞ! ～)						
※以下内容のセミナーをオーダーメイドで受付しております							
<p>(カリキュラム内容) NDI仕様デジタル超音波探傷器を使用し機器の取扱や垂直探傷・斜角探傷における機器の設定、探傷方法を習得します。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>① 超音波探傷の原理</td> <td>④ 垂直および斜角探傷</td> </tr> <tr> <td>② 垂直探傷における2点調整、測定範囲の調整</td> <td>⑤ まとめ</td> </tr> <tr> <td colspan="2">③ 斜角探傷における入射点、屈折角、測定範囲の調整、距離振幅特性曲線 (DAC)</td> </tr> </table>			① 超音波探傷の原理	④ 垂直および斜角探傷	② 垂直探傷における2点調整、測定範囲の調整	⑤ まとめ	③ 斜角探傷における入射点、屈折角、測定範囲の調整、距離振幅特性曲線 (DAC)
① 超音波探傷の原理	④ 垂直および斜角探傷						
② 垂直探傷における2点調整、測定範囲の調整	⑤ まとめ						
③ 斜角探傷における入射点、屈折角、測定範囲の調整、距離振幅特性曲線 (DAC)							

【主な使用機器】
超音波探傷器(GE USM35XJE)
標準試験片(STB-A1,STB-A2,STB-N1)

●その他

コース名	軸装の実践的な三段表装技術													
時間	9:00 ~ 16:00 (計24時間)	定員	10名											
コースNo.	日程		受講料											
7H104	2/2(月),9(月),16(月),24(火)		14,500円											
(カリキュラム内容) 三段表装の製作を通して、技能継承に向けた表装製作に必要な知識及び技能を習得します。														
<table border="0"> <tr> <td>① コース概要及び留意事項</td> <td>⑥ 総裏打ち</td> </tr> <tr> <td>② 表装様式</td> <td>⑦ 仕上げ</td> </tr> <tr> <td>③ 材料の準備</td> <td>⑧ 成果発表</td> </tr> <tr> <td>④ 肌裏打ち</td> <td>⑨ まとめ</td> </tr> <tr> <td>⑤ 切り継ぎ</td> <td></td> </tr> </table>					① コース概要及び留意事項	⑥ 総裏打ち	② 表装様式	⑦ 仕上げ	③ 材料の準備	⑧ 成果発表	④ 肌裏打ち	⑨ まとめ	⑤ 切り継ぎ	
① コース概要及び留意事項	⑥ 総裏打ち													
② 表装様式	⑦ 仕上げ													
③ 材料の準備	⑧ 成果発表													
④ 肌裏打ち	⑨ まとめ													
⑤ 切り継ぎ														
(参加者の声)														
<p>●表装の技術等教えてくれる所などないと思っていたので、大変役に立ちました。</p> <p>●軸装の作り方(採寸～仕上がりまでの流れ・精密さ)がよく分かりました。</p>														
【持参品】 筆記用具														

コース名	現場のための電気保全技術								
時間	9:00 ~ 17:30 (計 15 時間)	定員	10 名						
コースNo.	日程	受講料							
7H202	6/4(水),5(木)	10,000 円							
7H203	8/20(水),21(木)								
7H207	2/19(木),20(金)								
(カリキュラム内容) 電気設備保全、電気機器設備保全の診断・予防保全に向けた総合実習を通し、電気保全技術、故障個所の特定・対処法、劣化防止、測定試験、作業の安全対策に関する技能・技術を習得します。									
<table border="0"> <tr> <td>① 電気災害と対応策 (接地、短絡、漏電等)</td> <td>④ 総合演習</td> </tr> <tr> <td>② 機器配線のトラブル対策 (電気機器の構造)</td> <td>機器不良、制御盤不良、 屋内配線不良の検出と対応策、 測定実習</td> </tr> <tr> <td>③ 有接点シーケンス制御 (自己保持回路、タイマー回路等)</td> <td>(漏電電流、負荷電流、絶縁抵抗) 等</td> </tr> </table>				① 電気災害と対応策 (接地、短絡、漏電等)	④ 総合演習	② 機器配線のトラブル対策 (電気機器の構造)	機器不良、制御盤不良、 屋内配線不良の検出と対応策、 測定実習	③ 有接点シーケンス制御 (自己保持回路、タイマー回路等)	(漏電電流、負荷電流、絶縁抵抗) 等
① 電気災害と対応策 (接地、短絡、漏電等)	④ 総合演習								
② 機器配線のトラブル対策 (電気機器の構造)	機器不良、制御盤不良、 屋内配線不良の検出と対応策、 測定実習								
③ 有接点シーケンス制御 (自己保持回路、タイマー回路等)	(漏電電流、負荷電流、絶縁抵抗) 等								




【主な使用機器】
回路計、絶縁抵抗計、クランプメーター、電磁開閉器、リレー、タイマー、スイッチ、表示灯等

コース名	ビル設備管理の実務								
※以下内容のセミナーをオーダーメイドで受付しております									
(カリキュラム内容) ビル管理 (自動制御設備管理含む) の診断・予防保全に向けた設備機器の保全実習を通して、設備の効率的活用、コストマネジメントを意識した保全計画の作成に必要な知識及び技能・技術を習得します。									
<table border="0"> <tr> <td>① 課題の整理</td> <td>④ 保全計画</td> </tr> <tr> <td>② 給排水衛生設備の保全 (衛生器具廻り配管実習)</td> <td>⑤ まとめ</td> </tr> <tr> <td>③ 空気調和設備の保全 (エアハンドリングユニット)</td> <td></td> </tr> </table>				① 課題の整理	④ 保全計画	② 給排水衛生設備の保全 (衛生器具廻り配管実習)	⑤ まとめ	③ 空気調和設備の保全 (エアハンドリングユニット)	
① 課題の整理	④ 保全計画								
② 給排水衛生設備の保全 (衛生器具廻り配管実習)	⑤ まとめ								
③ 空気調和設備の保全 (エアハンドリングユニット)									




【主な使用機器】
量水器、水質測定器、空調機、熱源設備、搬送設備、衛生設備

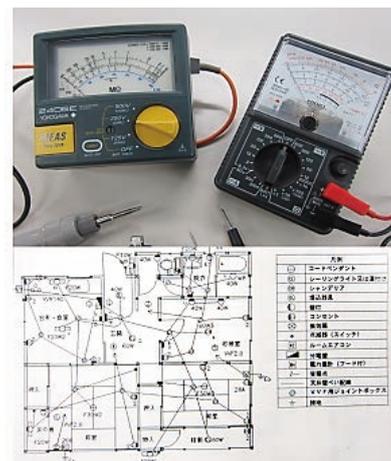
コース名	空調設備機器の保守技術						
※以下内容のセミナーをオーダーメイドで受付しております							
(カリキュラム内容) ビルなどの日常に欠かせない空気調和設備の保守に関して、設備点検実習及び空気線図の使用方法を通して、環境・省エネに配慮した空気調和機や熱源設備、搬送機器等の点検・保守等に係る知識及び技術を習得します。							
<table border="0"> <tr> <td>① 空気調和 ・空気環境の管理 ・空調システム ・熱源システム ・湿り空気と空調プロセス</td> <td>② 設備点検実習 ・エアハンドリングユニット ・熱源機器 ・搬送設備</td> </tr> <tr> <td></td> <td>③ まとめ</td> </tr> </table>				① 空気調和 ・空気環境の管理 ・空調システム ・熱源システム ・湿り空気と空調プロセス	② 設備点検実習 ・エアハンドリングユニット ・熱源機器 ・搬送設備		③ まとめ
① 空気調和 ・空気環境の管理 ・空調システム ・熱源システム ・湿り空気と空調プロセス	② 設備点検実習 ・エアハンドリングユニット ・熱源機器 ・搬送設備						
	③ まとめ						




【主な使用機器】
空気線図、実習設備 (空調機、熱源設備、搬送設備)、風速計、温湿度計、クランプメーター、絶縁抵抗計、回路計等

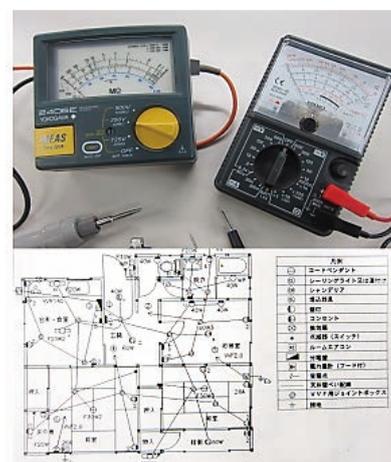
設備系

コース名		戸建て住宅電気設備設計実践技術	
時間	9:00～16:00 (計 12 時間)	定員	12 名
コースNo.	日程	受講料	
7D101	5/10(土),11(日) ※7D102とセットで受講することを推奨します。	6,000 円	
7D108	10/11(土),12(日) ※7D109とセットで受講することを推奨します。		
(カリキュラム内容) 一般用電気工作物における電気設備工事の電気理論、配電設計、電気機器、施工法など、生産性の向上を目指した技能・技術を習得します。 ※お申込みの際は、事前に訓練課までお問い合わせください。			
① 電気理論		④ 配線材料	
② 配電設計		⑤ 施工法	
③ 電気機器			



【主な使用機器】
指定テキスト

コース名		低圧電気設備の機器選定技術	
時間	9:00～16:00 (計 12 時間)	定員	12 名
コースNo.	日程	受講料	
7D102	5/17(土),18(日) ※7D101とセットで受講することを推奨します。	6,000 円	
7D109	10/18(土),19(日) ※7D108とセットで受講することを推奨します。		
(カリキュラム内容) 一般用電気工作物における電気設備工事の検査方法、電気関係法令、配線図など、生産性の向上を目指した技能・技術を習得します。 ※お申込みの際は、事前に訓練課までお問い合わせください。			
① 検査方法		③ 配線図	
② 電気関係法令		④ 電気設備の保護	



【主な使用機器】
指定テキスト

コース名 有接点シーケンス制御の実践技術			
時間	9:00 ~ 16:00 (計 12 時間)	定員	10 名
コースNo.	日程		受講料
7D104	10/1(水),2(木)		10,500 円
	※7D105とセットで受講することを推奨します。		
<p>(カリキュラム内容)</p> <p>有接点シーケンス制御を行うに当たり電磁リレーやタイマなど、各種制御機器を理解し、回路製作実習を通して、制御回路の設計・製作方法を習得します。</p>			
<p>① 概要</p> <p>② 各種制御機器の種類と選定方法</p> <p>③ 主回路と制御回路</p> <p>④ 有接点シーケンス製作実習</p>			
(参加者の声)			
●シーケンスのより深い知識(有接点回路等)が増えた。			



【主な使用機器】
制御用機器一式、負荷装置

コース名 シーケンス制御による電動機制御技術			
時間	9:00 ~ 16:00 (計 12 時間)	定員	10 名
コースNo.	日程		受講料
7D105	10/21(火),22(水)		10,500 円
	※7D104とセットで受講することを推奨します。		
<p>(カリキュラム内容)</p> <p>三相誘導電動機の制御を行うに当たり電磁接触器や熱動継電器など、各種制御機器を理解し、回路製作実習を通して、主回路及び制御回路の製作方法を習得します。</p>			
<p>① 三相電動機の概要</p> <p>② 連続運転回転</p> <p>③ 正逆運転回路</p> <p>④ 電動機制御実習 (Y-Δ始動回路)</p>			
(参加者の声)			
●回路図から配線を行うことが体験できたため勉強になった。			



【主な使用機器】
制御用機器一式、負荷装置

コース名 PLC制御の回路技術			
時間	9:00 ~ 16:00 (計 12 時間)	定員	10 名
コースNo.	日程		受講料
7D106	12/10(水),11(木)		10,500 円
<p>(カリキュラム内容)</p> <p>PLC制御設計の生産性の向上を目指して、PLCに関する知識、回路の作成・変更法やコンベア装置の設計実習を通して、自動化システムの設計・保守技術を習得します。</p>			
<p>① PLCの運用</p> <p>② 回路設計</p> <p>③ 設計実習</p>			
(参加者の声)			
●新しい専門的な技術・知識を習得できました。実習が多く、業務上PLCを使用しているため、大変参考になった。			



【主な使用機器】
PLC(三菱 FX)、コンベア負荷装置

オーダーメイドセミナーのご案内

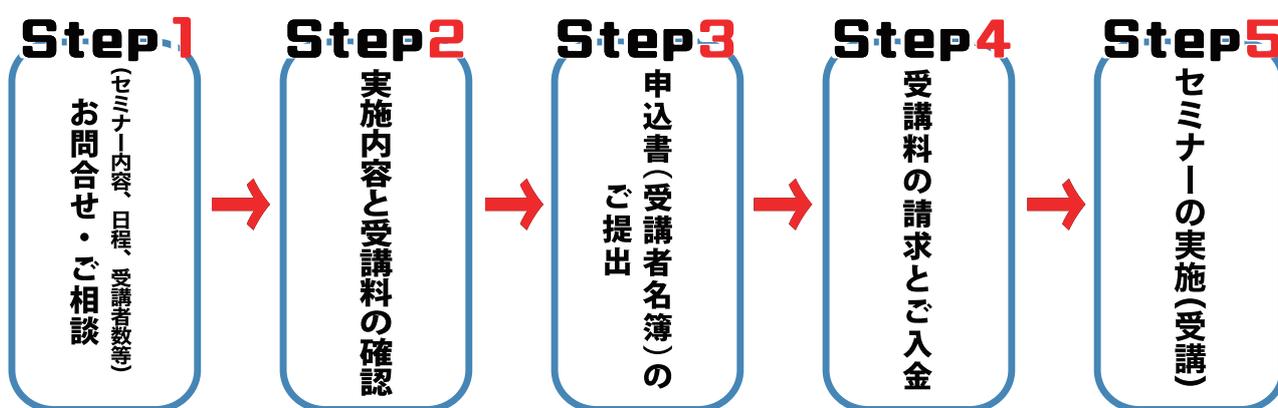
公開中のコースのほか、事業主や事業主団体の皆様のご要望に応じて、セミナー内容・日程等を個別に相談しながら計画、実施するオーダーメイドセミナーを承っています。

●メリット

- ① 生産活動で抱えている課題の解決や職務内容に応じたカリキュラムが編成できます。
- ② 開催日等をご相談のうえ、セミナーを設定できますので、計画的な人材育成が行えます。
- ③ 社員教育に必要な講師、機材、研修会場等のご心配が不要です。

●オーダーメイドセミナーの計画のポイント

- ① 公開中のコースをオーダーメイドセミナーとして要望できるため、都合の良い日程で受講できます（掲載していないコースについても、ご相談に応じています）。
- ② 会場は、ポリテクセンター大分となりますが、実施内容により指定の会場へ講師を派遣し出張セミナーとして開催することもできます。
- ③ セミナーの時間（12時間以上）や日程、受講者数、講習内容等を含め、自由に設定できます。
- ④ 関連会社等との合同実施が可能です。（例：A社2名、B社4名）



※費用（受講料）は、教材や諸経費を含めてご提示します。

●実施例

A社ご依頼 「建築生産設計の実践技術」

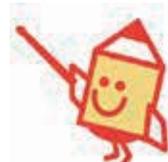
時間：3日間(計18時間) 受講者数：8名 受講料：※12,000円/1人

※受講者数、時間等により受講料が変動します。

・受講後の感想

事業主：部署が違うが近い年齢の社員が集まることで自社の現在地が確認できた。

受講者：普段の業務では現場に出ることがないため、今回は現場の内容について特に理解を深めることができ、良かったです。



施設利用等貸出のご案内

従業員の職業訓練や人材育成を目的とした研修の会場を必要とされる場合に、当センターの空き状況に応じ、会議室、実習場等をご利用できます。

●申込み例

- ① 事業主や事業主団体の皆様が一齐に行う社員教育、技能・技術研修等
- ② 各種技能検定やその準備講習

●施設設備利用可否の確認

電話にて利用の目的と使用希望日の空き状況をお問い合わせください。

TEL 097-529-8615 (訓練課)

●申込みについて

使用日の2か月前からとし、所定の「施設設備使用申請書」に必要事項を記入のうえ、郵送でお申し込みください。

※「施設設備使用申請書」は、当センターのホームページにPDFとWord形式でご用意しています。

URL <https://www3.jeed.go.jp/oita/poly/biz/shisetuannai.html>

●注意点

- ① 承認された利用目的以外での利用はできません。
- ② 施設の利用に当たっては、火気や作業安全面に十分注意を払ってください。
- ③ 施設設備等を破損または消失した場合は、その損害を賠償していただきます。
- ④ ご利用中の一切の事故については、当センターでは責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ⑤ ご利用後は、掲示物・搬入物品の撤去、忘れ物等がないか確認後に清掃を行い、速やかに現状復帰をお願いします。

講師派遣のご案内

社員教育や研修等の内容に応じ、訓練指導のノウハウを持った専門の職業訓練指導員（テクノインストラクター）を講師として派遣・紹介しています。

訓練内容についても幅広い分野に対応することができ、施設内での実施だけでなく貴事業所へ出向いての実施も可能です。

●利用方法

事前に電話にてお問い合わせください。

TEL 097-529-8615 (訓練課)

●申込みについて

派遣希望日の2ヶ月前からとし、所定の「指導員派遣申込書」に必要事項を記入のうえ、郵送でお申し込みください。

※「指導員派遣申込書」は、当センターのホームページにPDFとWordでご用意しています。

URL <https://www3.jeed.go.jp/oita/poly/biz/shidouin.html>

●注意点

- ① 承認された利用目的以外での利用はできません。
 - ② 講師派遣の費用については、指導員1人につき1時間当たり5,000円です。
 - ③ 貴事業所までの交通費等の実費が別途かかります。
- ※ その他、ご不明な点は、お問い合わせください。

人材採用のご案内

ポリテクセンター大分では、求職者の方を対象に6～7か月間の職業訓練を実施し、即戦力となる人材を育成しています。
ぜひ、ポリテクセンターの訓練受講者・修了者の採用をご検討ください。

機械系

●CADものづくりエンジニア科



- ・機械製図作業
- ・2DCAD基本作業
- ・2DCAD応用作業/製図
- ・機械加工基本作業
- ・NC機械加工作業
- ・応用課題

●3DCAD活用科



- ・2DCAD作業/機械製図
- ・3DCAD基本作業
- ・3DCAD応用作業
- ・NC機械加工作業
- ・CAD/CAM作業
- ・応用課題

●ものづくりアシスタント科



- ・製造業の財務会計/原価計算
- ・PC基本作業
- ・機械製図作業
- ・2DCAD基本作業
- ・3DCAD/試作作業

●ものづくり溶接科



- ・金属加工基本
- ・炭酸ガスアーク溶接
- ・構造物制作
- ・被覆アーク溶接
- ・TIG溶接
- ・機械板金加工/2DCAD

電気系

●電気設備技術科



- ・シーケンス制御
- ・PLC制御/消防設備
- ・受変電設備/制御盤組立作業
- ・電気工事作業(各種配線)
- ・CAD活用/住宅配線

●電気設備技術科(企業実習付き)



- ・電気工事作業(各種配線)
- ・CAD活用住宅配線
- ・シーケンス制御
- ・企業実習
- ・フォローアップ訓練

居住系

●建築CAD・リフォーム技術科



- ・建築(木造住宅)
- ・2DCAD(Jw_cad)
- ・3DCAD(3Dマイホームデザイナー)
- ・建築大工技術
- ・内装技術
- ・リフォーム技術

●ビル管理技術科



- ・空調設備保全管理
- ・給排水衛生設備管理
- ・IoT機器を用いたビル設備点検
- ・電気配線工事
- ・ボイラー設備
- ・電気設備保全管理

お問い合わせ先

ポリテクセンター大分 就職支援室
TEL 097-529-8615 FAX 097-529-8618
メール：oita-poly03@jeed.go.jp



人材情報は
こちらから



HP上で訓練受講者の人材情報を公開しています。

生産性向上支援訓練のご案内

生産性向上支援訓練とは、企業が生産性を向上させるために必要な知識などを習得する職業訓練で、専門的見解を有する民間機関等と連携して、企業が抱える課題や人材育成ニーズに対応します。

生産性向上支援訓練 3つのポイント

1 企業の生産性向上に効果的な知識や技法を習得！

- ・生産管理、組織マネジメント、マーケティング、データ活用など、あらゆる産業分野の生産性向上に効果的なカリキュラムを用意（全131コース）

2 企業のニーズに合わせたオーダーメイドのコース設定が可能！

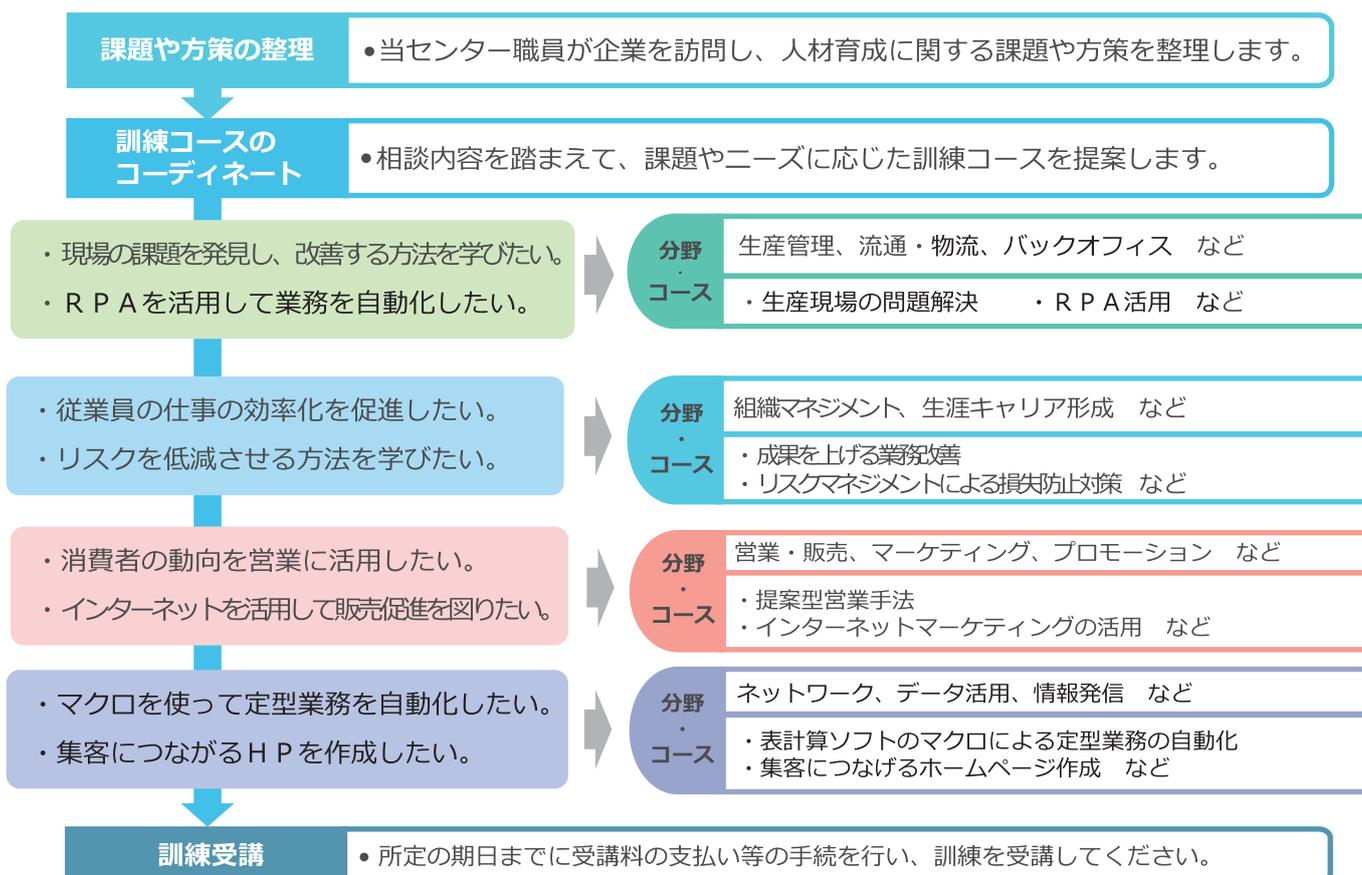
- ・自社会議室等を訓練会場とすることが可能（企業に講師を派遣します）
 - ・実施日時や訓練時間も調整可能（訓練時間は4～30時間で設定）
- ※従業員1人からでも利用できるオープンコースも実施しています



3 受講しやすい料金設定！

- ・受講料は1人あたり2,200円～6,600円（税込）
- ・条件を満たす場合は国の助成金（人材開発支援助成金）を利用可能

訓練受講までの流れ



※相談内容によっては、少人数からでも受講できるオープンコースのご利用を提案する場合があります。

お問い合わせ先

生産性センター業務課
TEL:097-529-8617 FAX:097-522-4456



生産性訓練 大分

DX人材育成を支援する生産性向上支援訓練 DX対応コースのご案内

現在、社会全体のDXが進んでいます。これに対応するためには、働き手一人ひとりがDXに参画し、デジタル技術を活用したプロセスの改善や、デジタルを活用しやすい組織づくりに取り組むことが重要です。

当センターでは、「DX対応コース」を選定し、中小企業・事業主団体等のDX人材の育成を支援しています。



DX対応コースの概要

生産性向上支援訓練カリキュラムモデルの中から、訓練目的・分野による分類とは別に、DX推進に向けたスタートコース、ネットワーク・セキュリティに関するコースを選定し、**共通領域**として設定しました。また、DXに向けた**3つの課題**を設定し、それぞれの課題解決に対応したコースを選定・分類しています。

共通領域	DX推進に向けたスタートコース
	DXの推進に必要な知識や導入事例を知りたい ⇒【バックオフィス分野】DXの推進
	ネットワーク・セキュリティに関するコース
	社内ネットワークのセキュリティ対策を進めたい ⇒【倫理・セキュリティ分野】脅威情報とセキュリティ対策
3つの課題	デジタル化と新しい生活様式の課題への対応コース
	自社業務に適切なITツールを選定したい ⇒【バックオフィス分野】ITツールを活用した業務改善
	業務プロセスの課題への対応コース
	システム化に伴うコストの考え方を知りたい ⇒【バックオフィス分野】失敗しない社内システム導入
	ビジネスモデルの課題への対応コース
	IoTによるビジネス環境の変化や動向を知りたい ⇒【組織マネジメント分野】IoTを活用したビジネスモデル

- 受講対象者
事業主の指示を受けた在職者の方
- 訓練日数・時間
おおむね1～5日
(4～30時間)
- 受講料(1人あたり・税込)
2,200円～6,600円
- 訓練会場
自社会議室等を訓練会場とすることが可能です(講師を派遣します)



【生産管理分野】	在庫管理システムの導入、POSシステム活用技術、製造分野におけるDX推進 など
【流通・物流分野】	3PLとSCM、物流のIT化、流通システム設計、物流システム設計 など
【バックオフィス分野】	DX(デジタルトランスフォーメーション)の導入、AI(人工知能)活用 など
【組織マネジメント分野】	ビジネスとSDGs(持続可能な開発目標)の融合、DX人材育成の進め方 など
【営業・販売分野】	マーケティング志向の営業活動の分析と改善、オンライン営業技術 など
【マーケティング分野】	インターネットマーケティングの活用など
【プロモーション分野】	プロモーションとチャンネル戦略、チャンスをつかむインターネットビジネス など
【ネットワーク分野】	ワイヤレス環境に必要となる無線LANとセキュリティ、など
【データ活用分野】	効率よく分析するためのデータ集計、ピボットテーブルを活用したデータ分析 など
【情報発信分野】	SNSを活用した情報発信 など
【倫理・セキュリティ分野】	情報漏えいの原因と対応・対策 など

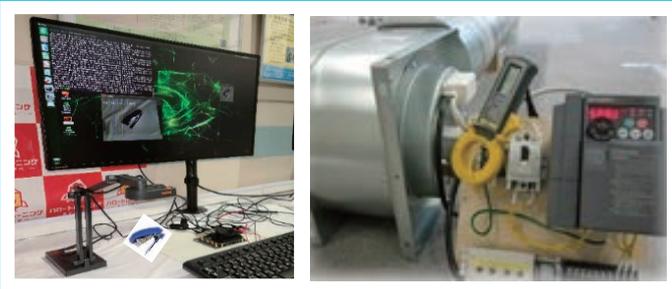
さらなる **スキルアップ**

を目指すなら

高度 ポリテク センター



実習例



- ◆年間約700コースの豊富なカリキュラム
- ◆経験豊富な講師陣による実践的な研修内容

社員教育の一環として
ご利用ください！

人気コースの一例

詳しくは、公式サイトまたは当センターのコースガイドをご覧ください

- 金属材料の腐食対策
- カーボンニュートラルに向けた機械設計の進め方
- 電子回路から発生するノイズ対策技術
- AI・画像処理技術<集中育成コース>
- データサイエンス技術<集中育成コース>

お問合せ先

043-296-2582(事業課)

〒261-0014

所在地

千葉県千葉市美浜区若葉3-1-2

E-mail

kodo-poly02@jeed.go.jp



公式サイト



X (旧Twitter)



能力開発セミナー受講申込書

(FAX: 097-522-0170・Mail: oita-poly03@jeed.go.jp)

※お申込みの前に必ずご一読ください

- お申込みは、本紙の必要事項をご記入のうえ、FAX(097-522-0170)又はメール(oita-poly03@jeed.go.jp)にてお送りください。
- お申込みが少数など当センターの都合によりコースを中止または延期させていただく場合がありますので、ご了承ください。
- 開講が決定次第、「受講の案内」・「請求書」・「受講取消届」を送付させていただきます。受講料は、開講日7日前までにお振込みください。
- 受講の取消が発生した場合は、速やかに「受講取消届」をFAX又はメールにてお送りください。
開講日14日前までにFAX等による届出がない場合、キャンセル料として受講料の100%を納付いただきますので、ご注意ください。
- 開講日14日前までの届出において、受講料を既にお振込みされているお申込みにつきましては、取消したコースの受講料を返金します。申込区分「会社からの申込み」の場合は、受講者が所属する会社の代表者の方(事業主、所長、工場長等)にアンケート調査へのご協力をお願いしています。
- 訓練内容等のご不明な点、あるいは安全面・健康上においてご不安な点等がございましたら、あらかじめご相談ください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大分支部
大分職業能力開発促進センター所長 殿

令和 年 月 日

下記のとおり訓練内容と受講要件(ある場合のみ)を確認のうえ、申し込みます。

申 込 内 容			
1. 記入者情報(個人でのお申込みの場合、*印のある欄のみご記入ください)			
申込区分	<input type="checkbox"/> 会社からの申込み		<input type="checkbox"/> 個人からの申込み
法人番号	* (法人番号がない場合は、以下の該当に○印) 1. 団体、 2. 個人事業主、 3. 個人		
企業名			業 種 (※Aから)
住所*	〒		
企業規模	※該当に○印をしてください。 A. 1人～29人 B. 30人～99人 C. 100人～299人 D. 300人～499人 E. 500人～999人 F. 1,000人～		
担当者 及び 連絡先	フリガナ*		所属 部署
	氏名*		
	TEL*		FAX*
	メールアドレス*		
【ご注意】個人でお申込みの場合、TEL欄には平日昼間に連絡のつく携帯電話番号等をご記入ください。			
【業種】 ※A	A. 農業、林業 B. 漁業 C. 鉱業、採石業、砂利採取業 D. 建設業 E. 製造業 F. 電気・ガス・熱供給・水道業 G. 情報通信業 H. 運輸業、郵便業 I. 卸売業、小売業 J. 金融業、保険業 K. 不動産業、物品賃貸業 L. 学術研究、専門・技術サービス業 M. 宿泊業、飲食サービス業 N. 生活関連サービス業、娯楽業 O. 教育、学習支援業 P. 医療、福祉 Q. 複合サービス事業 R. サービス業 S. 公務 T. 分類不能の産業		
2. 受講申込みコース			
コースNo	コース名	フリガナ 受講者氏名	生年月日
			西暦 年 月 日
		就業状況(※1) (該当に○印)	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)
			西暦 年 月 日
		就業状況(※1) (該当に○印)	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)
			西暦 年 月 日
		就業状況(※1) (該当に○印)	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)
			西暦 年 月 日
		就業状況(※1) (該当に○印)	1. 正社員 2. 非正規雇用 3. その他(自営業等)
訓練に関する経験・技能等(※2)			
※1 就業状況の非正規雇用とは、一般的にパート、アルバイト、契約社員等が該当しますが、様々な呼称があるため、貴社の判断で差し支えありません。 ※2 訓練を進めるうえでの参考とさせていただきます。今回受講するコース内容に関連した職務経験、資格、教育訓練受講歴等をお持ちの方は、差し支えない範囲でご記入ください。(例: 切削加工の作業に約5年間従事)			

当機構の保有個人情報保護方針、利用目的について

- (1) 独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構は「個人情報の保護に関する法律」(平成15年法律第57号)を遵守し、保有個人情報を適切に管理し、個人の権利利益を保護いたします。
- (2) ご記入いただいた個人情報は能力開発セミナーの受講に関する事務処理(連絡、修了証書の交付、修了台帳の整備)及び業務統計、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内に使用するものであり、それ以外に使用することはありません。
- (3) 今後、当機構の能力開発セミナーや関連するセミナー・イベント等の案内を希望しますか。

希望する

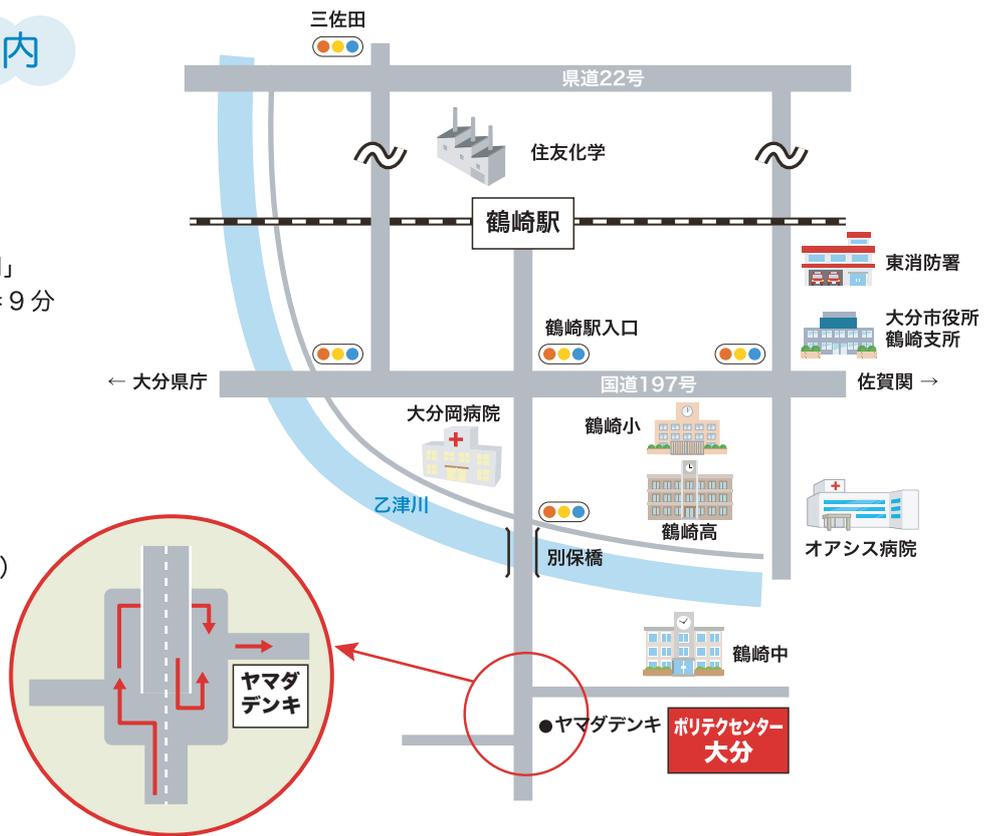
希望しない



交通アクセスのご案内

- JRをご利用の場合
 - ・鶴崎駅から徒歩 10 分
- 大分バスをご利用の場合
 - ・鶴崎、佐賀関方面行き「寺司」
 - または「鶴崎駅前」下車徒歩 9 分
- 車をご利用の場合
 - ・国道 197 号から
 - 「鶴崎駅入口交差点」を
 - 森町バイパス方面 (0.6km)

→ 別保橋下り坂を左折 (0.1km)



お問い合わせ先

ポリテクセンター大分

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構大分支部
大分職業能力開発促進センター

〒870-0131 大分市皆春1483-1
TEL(097)529-8615/FAX(097)522-0170

ポリテクセンター大分

<https://www3.jeed.go.jp/oita/poly/>



ハロートレーニング
— 急がば学べ —

